

早池峰山

-302m-

岩手県水沢市

水沢駅通り(スガハラ前)から岩手県交通バス正法寺行き黒門下車

2000年5月2日

1113 秋成バス停発(岩手県交通バス¥440)

1130 黒門バス停

1200頃 山頂

水沢市内に東北自然歩道「[古刹を巡るみち](#)」というハイキングコースがある。このコースは黒石寺 - 大師山 - 正法寺を通る。1998年に歩いた時コースの案内板を見て気付いたのだが、正法寺から北西方向に伸びている細道があり早池峰道と記載されている。岩手の名峰・日本百名山の早池峰山と同一名なのでそれと何か関係があるのか、そうでなければわざわざ案内板に記載する理由もないのだが・・・と思った。それはともかく水沢市内に早池峰という地名が存在することを知り驚いた。

その後、実家に戻ったとき胆江新聞を読んでいたら連載コラムの記事に早池峰山が紹介されていた。登山道があり山頂に神社があって信仰の山である事を知る。1999年12月末に大鉢森山の下見のために正法寺アンテナまで歩きその帰りに早池峰道の入口を捜した。水沢方面から国道343号正法寺バイパスに入ると兵士沢へ抜ける林道が左手に分岐する。この林道はすぐに左に急カーブし坂を上るが、カーブが

終わった地点から南側に入る細道がある。この道が東北自然歩道である。初めて来る場合は道標が無いので見過ごしてしまいそうだ。この自然歩道に入り3歩程進んで左上の斜面を見ると早池峰登山道と刻まれた石柱が立っていた。この日は日暮れが近かったので登頂は次回の楽しみとし引き返した。

2000年5月、大鉢森山に行く予定でバスに乗り込む。運転手が乗客にジョークをしゃべり続け車内は大変賑やか。黒石を過ぎると客が少なくなる。黒門バス停で下車。終点の正法寺の一つ手前である。黒門バス停は東北自然歩道の起点であり近くにコースの案内板が立っている。自然歩道は正法寺バイパスの土塁の脇を通り民家の畑を横断するが、民家の敷地内に入るのをはばかり車道を経由した。登山道入口の石柱から斜面を上り始める。まだ木々からは若芽が出始めたばかりで山菜として食するにはあと2~3日かかりそうだ。いわゆる新緑の季節で非常にすがすがしい。ほぼ一直線に上り詰めると黒っぽい岩石が露出している地点にでる。黒石の地名の由来となっている蛇紋岩である。植生も広葉樹から赤松に変わる。ここから道は左にカーブし平坦な尾根の上をしばらく進む。最後に再び急斜面を一気に上ると山頂となる。小さな神社が建っている。ここから



写真1 早池峰山道入口

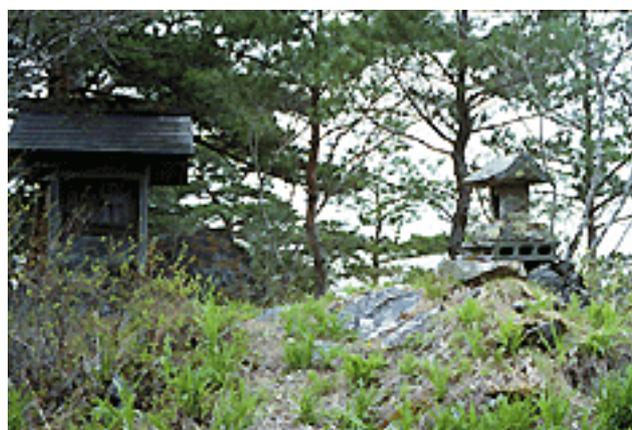


写真2 早池峰山頂

は兵士沢方面の山を見おろすことができる。胆沢平野方面は手前の山々の間からちらちらと見える程度。あまり視界は開けない。少々休憩した後下山し大鉢森山に向かった。この季節、水沢の山は最高と感じた一日だった。<完>

参考文献:再発見 胆江地方から見える山々
2000年4月発行 及川慶志著 胆江日々新聞社発行

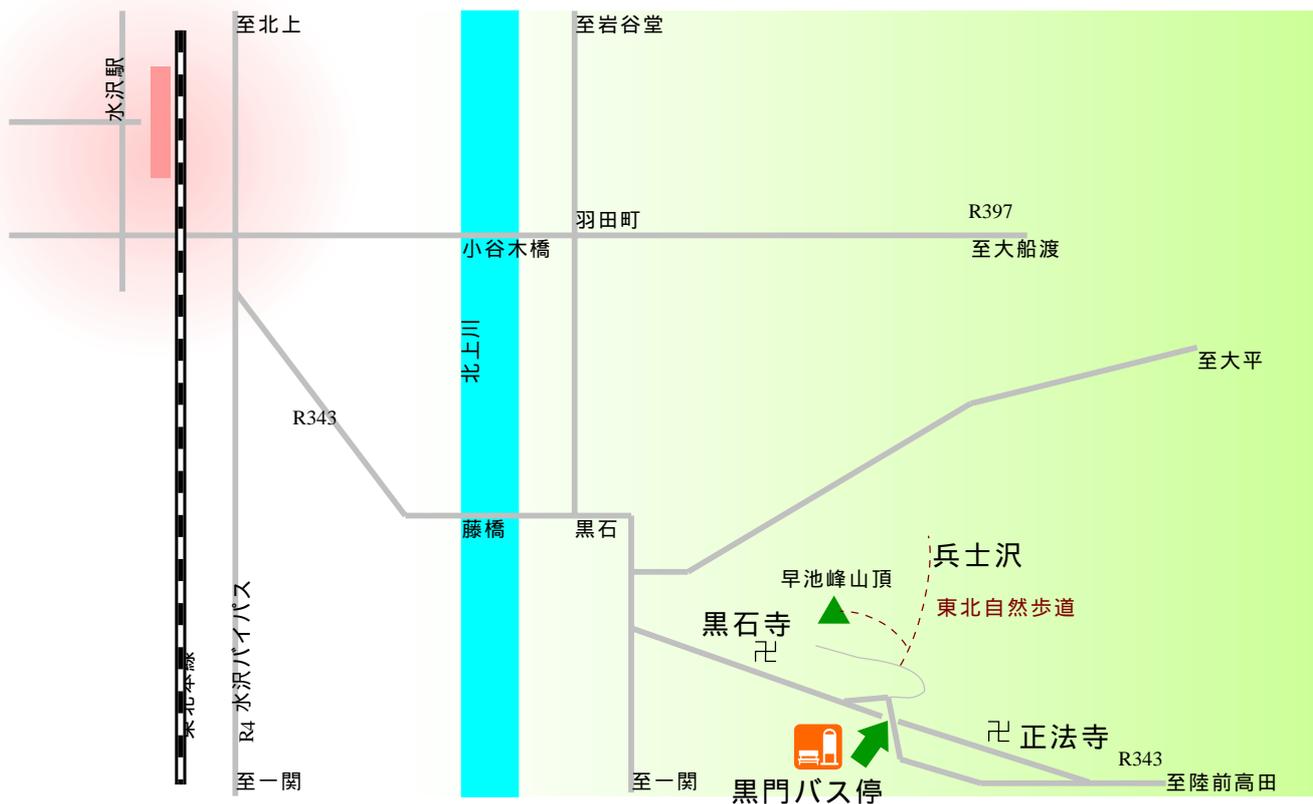


図1 コース略図